

令和元（平成31）年度第3回地域包括支援センター運営協議会概要

議事概要

- (1) 令和2年度包括的支援事業業務委託について
- (2) 令和2年度佐世保市地域包括支援センター運営方針及び事業計画について

委員意見集約結果

(1) 令和2年度包括的支援事業業務委託について

地域包括支援センターから市へ提出される毎月の事業報告による事業実施状況等により、事業が概ね適正に実施されていることから、来年度も継続して事業を委託することとします。

異議なし 10名

(2) 令和2年度佐世保市地域包括支援センター運営方針及び事業計画について

市が示す「地域包括支援センター運営方針」を基に、センターの目的や業務内容に沿って作成した事業計画は、資料のとおりです。

異議なし 10名

(意見等についての記載 3名)

(意見等の内容)

- ① 地域の集いの場が減少するのは、高齢化もひとつの要因と感じます。
地域に浸透した健康教育や地域活動を通して、地域の方へは介護予防や健康寿命に向けた意識の向上を図り、住民が主体となり取り組むまでの推進には、生活支援コーディネーターや老人会、社会福祉協議会、民生委員等と日頃から連携できる関係づくりが必要不可欠と思います。
- ② 多くの地区において、交通の利便性の悪さと移動手段の少なさを課題とされていますが、具体的な対策案は示されていません。地区の問題としてではなく、佐世保市全体で考えなければならぬのではないのでしょうか。また、介護予防に関しての人材育成については、茨城県が取り組んでいる、地域で介護予防の体操を普及させるボランティア活動実践者であり指導者となる人を養成する「シルバーリハビリ体操指導士養成事業」があり住民が住民を育てる取り組みです。

質問事項については、次回開催の運営協議会において報告予定